

「雪国でも暮らしやすい住まいを」

# 村山の「あんばい・いい家」大賞決定

村山市では、まち・ひと・しごと創生総合戦略「住みたい、帰りたい、ひと」を増やそうの一環として、村山の「あんばい・いい家」設計コンペを行いました。

「あんばい・いい家」とは、「雪を考えた住宅」をテーマに、「経済性」と「環境への配慮」がバランスよく設計された高性能な家です。コンペには全国から137点の作品登録があり、2月25日に1次審査会を実施。審査を通過した15点から3月13日に実施した最終審査会で、大賞ほか8点の入賞作品を決定しました。

## 入賞者（敬称略）

■大賞  
・(株)金内勝彦設計工房 金内勝彦、早坂将太（山形市）

## 特別賞

・Na to Wa 渡部香織、難波真史（東京都）

## 佳作（下の作品番号と同じ）

- ①(有)柴崎浩一設計事務所 柴崎浩一（村山市）
- ②一級建築士事務所 Panda 井上恵一、堀真美（京都府）
- ③一級建築士事務所 伊森増田アーキテクト 伊森多加男（神奈川県）
- ④板垣建築設計事務所・kokua home design 板垣正朋、石山多喜子（南陽市）
- ⑤ポジティブ無級建築事務所 岩田源太、宮原翔太郎（東京都）
- ⑥一級建築士事務所 アトリエBam 嶋村泰輝、嶋村博子（東京都）
- ⑦鈴木理考（東京都）

## 設計を利用し新築する方へ助成

入賞した設計コンセプトを利用し、市内に新築する方には、設計費の2分の1（最大150万円）を助成します。入賞作品の閲覧や助成の詳しい内容はお問い合わせください。

■問合せ／政策推進課地方創生係

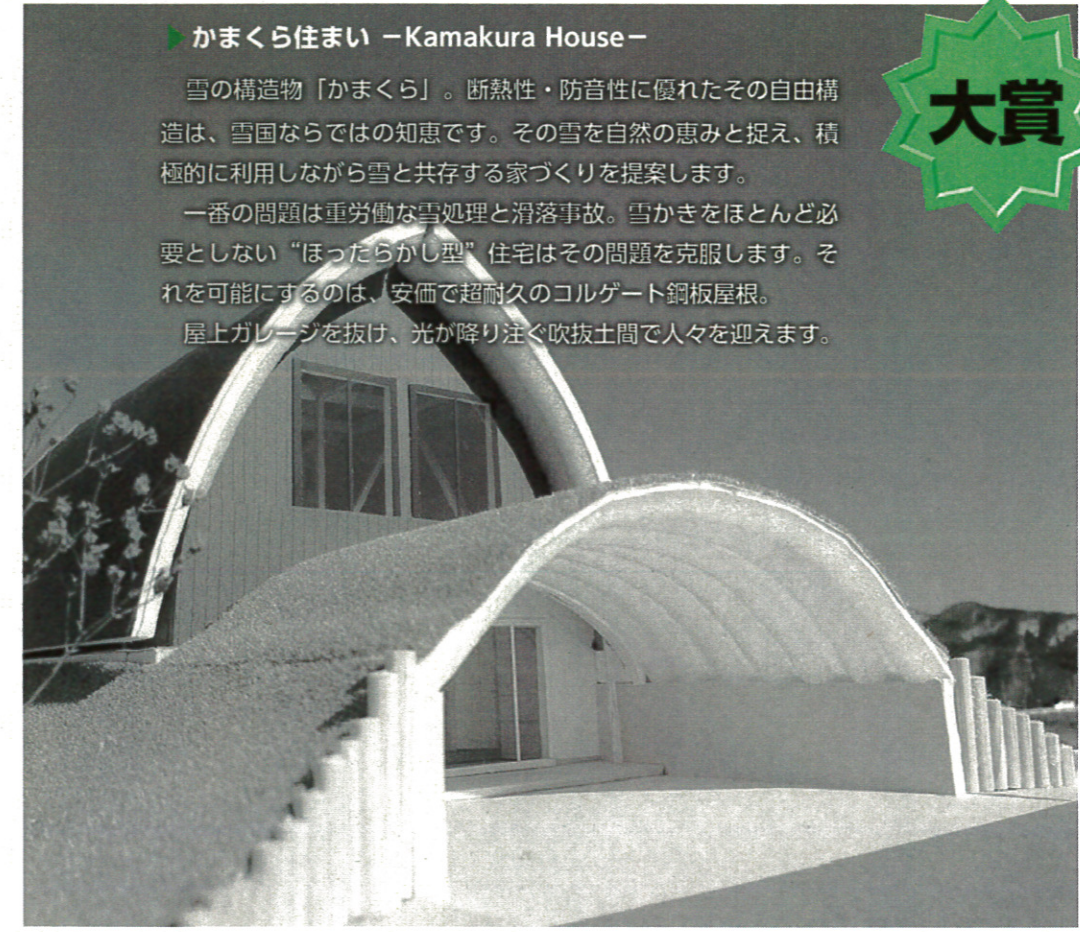
☎内線 274

特集 村山の「あんばい・いい家」大賞決定



### かまくら住まい - Kamakura House -

雪の構造物「かまくら」。断熱性・防音性に優れたその自由構造は、雪国ならではの知恵です。その雪を自然の恵みと捉え、積極的に利用しながら雪と共存する家づくりを提案します。一番の問題は重労働な雪処理と滑落事故。雪かきをほとんど必要としない“ほったらかし型”住宅はその問題を克服します。それを可能にするのは、安価で超耐久のガルゲート鋼板屋根。屋上ガレージを抜け、光が降り注ぐ吹抜土間で人々を迎えます。



### 雪と棲む家

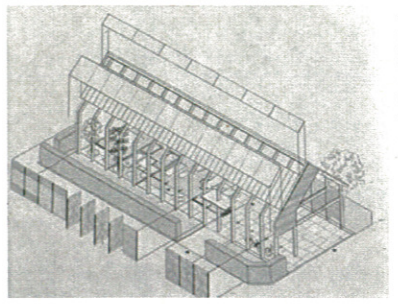
雪下ろしの少ない屋根勾配から導かれた山型の家に、ぼんやりと明かりがともるトンネルの入口があります。その入口を進めば吹抜けのある広々とした土間に出ます。そこで近所の人々がまきストーブを囲んでおしゃべりをしたり、子どもたちが雪遊びの間に暖をとっています。土間から続く階段を上ると斜めの天井が緩やかに家族の空間を作り、暖かい空気を包みこむ、あんばい・いい居心地をそれぞれが見つかることのできる家を提案します。



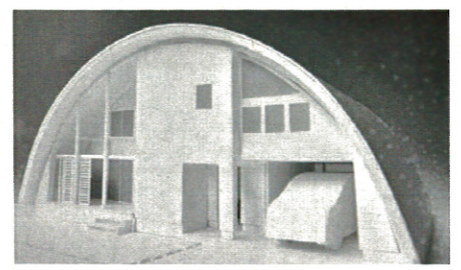
↑ ②おみせBOXのあるジグザグハウス



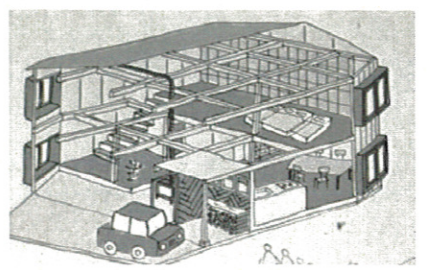
↑ ①あんばい場所をつなげる家



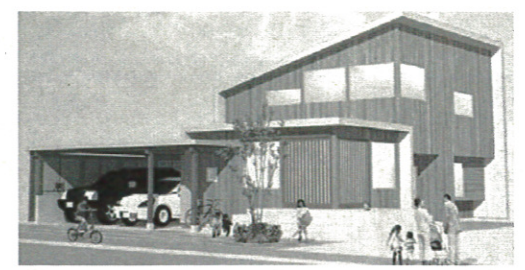
↑ ⑦村山型住宅



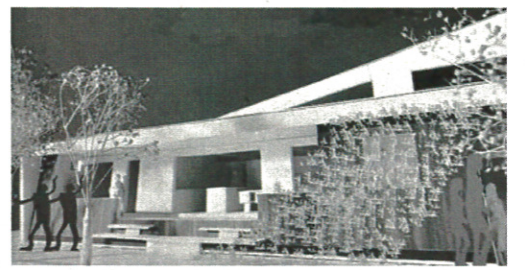
⑥KAMAKURA-HOUSE 2016



⑤地域に根づくベビー住宅「ヨチヨチハウス」



④むらやま里在



③とりにわハウス～軒下活用ウィンターテラスのある家～

特集 村山の「あんばい・いい家」大賞決定